

荒川区立第三中学校 「校内ハローワーク」への協力

当協会は「人材確保タスクフォース」を設置し、船員教育機関等と連携しつつ優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っている。今般、その一環として荒川区立第三中学校（東京都）の校内ハローワークに、講師として日本郵船 江崎茂船長と同 芝章真二等航海士を派遣した。
（写真は開始前の全体会）



荒川区立第三中学校の校内ハローワークは、生徒に「職業人の話を聞き、自己の生き方を考える機会とする」ことなど、主にキャリア教育を目的として、平成13年度から開催されている。

当協会には平成23年度より招請があり、今回5回目の講師派遣となる。今年度は10月17日（土）の開催で、航海士のほかパティシエや美容師、薬剤師など30職種にわたる講師が招かれ、全校生徒390名がそれぞれの講座に分かれて参加した。

「航海士」の講座には計20名ほどが参加し、船員のなり方や仕事のやりがい、漁師との違い、海賊のことなどについて説明があった。生徒からは「航海士になるために、中学生からできることは何ですか」、「船の運転は難しいですか」、「どのくらいで昇格して船長になれるのですか」といった内容の質問があり、江崎船長・芝二等航海士が周辺知識を交え、わかりやすく回答していた。

人材確保タスクフォースでは、今後もこうしたキャリア教育の場で、船員という職業の魅力を伝え、認知度の向上に努める。



船員ならではの逸話に生徒も興味津々